

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道152号 <small>むかいまんば</small> 向井万場拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県下伊那郡上村程野 至：長野県下伊那郡上村上町	延長	6.3Km		
事業概要	一般国道152号は、長野県上田市から静岡県浜松市に至る延長約256kmの幹線道路であり、遠山谷を縦貫する唯一の幹線道路であることから、沿線地域の重要な生活道路でもある。向井万場拡幅は幅員狭小、線形不良区間の改良を目的とした延長6.3kmの2車線道路である。				
S52年度事業化	都市計画決定 なし	S52年度用地着手	S52年度工事着手		
全体事業費	約97億円	事業進捗率	89%	供用済延長	5.2km
計画交通量	3,600台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用 (残事業)/事業全体	総便益 (残事業)/事業全体	基準年	
	(事業全体) 1.3 (残事業) 1.6	23 / 29 億円 (事業費：21 / 27 億円) (維持管理費：2 / 2 億円)	37 / 37 億円 (走行時間短縮便益：39 / 39 億円) (走行費用減少便益：-1 / -1 億円) (交通事故減少便益：-1 / -1 億円)	平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保(利便性の向上が期待できるバス路線がある) ・国土・地域ネットワークの構築(日常活動圏中心都市へのアクセス向上が期待される) <p style="text-align: center;">他5項目に該当 (定量的評価項目を除く)</p>				
関係する地方公共団体等の意見	下伊那郡上村より向井万場拡幅上中郷工区(未改良工区)の早期完成の要望(平成15年7月28日)要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	三遠南信自動車道の一部として位置付けられ、広域的な道路網の中で整備が急がれている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに5.2kmが供用済み。用地は100%完了。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残区間の橋梁2基、トンネル1基の整備を進め、平成19年度全線開通予定である。				
施設の構造や工法の変更等	施工手順を見直すことにより、仮設備を大幅に縮小し、コスト縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されることが考えられる。				
事業概要図	<div style="text-align: center;"> <p>向井万場拡幅 L=6.3Km</p> </div>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。